

気象情報（大雨）と行動例

気象庁から発表される情報のタイミングと、そのときにとるべき行動の例をまとめました。
 特に、「突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域（土砂災害警戒区域等）や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いの区域（洪水浸水想定区域等）にお住まいの方」は、いざという時に自発的に避難を開始できるよう、事前にご確認ください。

大雨・台風の場合

	気象状況	気象情報	河川情報	市の対応
レベル1 大雨の数日（約1日前）	数日後までに警報級の現象発生の可能性が予想され、大雨の可能性が高くなる 	警報級の可能性 天気予報の発表地域ごとに発表		防災情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> 心構えを一段高める 職員の連絡体制の確認 今後の気象状況に注意
レベル2 大雨の半日（数時間前）	雨が強さを増す 	大雨・洪水注意報 市町村単位で発表	河川洪水予報 氾濫注意情報	防災情報の発信 防災行政無線  災害情報メール   情報メール いとしま 県防災メール まわるくん
レベル3 大雨の数時間（2時間程度前）	大雨となる 	大雨・洪水警報 市町村単位で発表	氾濫警戒情報	情報連絡本部 24時間体制で職員を配置 災害対策本部設置 避難情報発令を判断できる体制 指定避難所を開設できる体制 避難準備・高齢者等避難開始 指定避難所開設 避難者の受け入れ
レベル4	大雨が一層激しくなる 		氾濫危険情報	避難勧告 緊急速報メール  避難指示（緊急）
レベル5 災害発生	広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報 市町村単位で発表	土砂災害警戒情報 危険度分布「非常に危険」「極めて危険」 氾濫発生情報	災害発生情報

出典：気象庁ホームページ「新たなステージ」に対応した防災気象情報の改善」を編集して作成
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/newstage.html>